

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)

釧網線

令和4年8月

釧網線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、釧網線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、釧網線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実験的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線別収支は、▲1,752百万円となり基準とした平成29年度より255百万円下回った。
営業収益は「くしろ湿原ノロッコ号」など観光列車の利用促進に取り組んだほか、前年が新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少した等により、対前年19百万円増加した181百万円（対前年111%）となった。
営業費用は橋梁の塗装等により修繕費が増加したことにより対前年81百万円増加した1,933百万円（対前年104%）となった。
線別収支は結果として、対前年63百万円減少した。
- ・輸送密度は245人/日となり基準とした平成29年度より129人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線別収支	▲1,497百万円	▲1,752百万円	▲255百万円	未達成
輸送密度	374人/日	245人/日	▲129人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が3%、達成見込み「○」が66%、一部達成「△」が6%、未評価「－」が25%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	2	3%	釧網線90周年事業の取り組み、「くしろ鉄道めぐり」インスタキャンペーンの実施
○	43	67%	「ひとめぐり号」沿線におけるおもてなし、集中メンテナンス工事など
△	3	5%	通学定期券購入に対する助成生後の検討など
－	16	25%	あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始など
合計	64	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1)くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>4月29日より令和3年度くしろ湿原ノロッコ号の運行が開始された。安心して鉄道旅を満喫していただけるよう、販売する指定席を4割減らし、窓の開閉を行い、換気を徹底するなど感染予防対策を行いながら、利用促進に取り組んだ。</p>	 <p>(令和3年4月29日撮影・釧路駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(2)釧網線90周年事業の取り組み</p>	<p>4月3・4日の2日間、釧網線全通90周年記念キックオフイベントを開催した。釧路駅にて沿線の魅力PRや名産品の物販を行うブースを設置するなど、地域の皆様と釧網線の魅力をPRした。</p>	 <p>(令和3年4月3日撮影・釧路駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(2) 釧網線90周年事業の取組み</p>	<p>JR釧網本線維持活性化実行委員会は、全通90周年を記念したツアー「摩周であいましゅう」を実施した。網走駅・釧路駅を出発した参加者計54名は、川湯温泉駅まで列車に乗車後、釧網本線の歴史に関する講話や90歳をお祝いするバースデケーキ披露といったイベントに参加、釧網線に対する理解と参加者同士の交流を深めた。</p>	 <p>(令和3年10月9日撮影・釧路駅)</p>
	<p>釧網線全通90周年の節目を祝うイベントとして、1月22日釧路駅において「ひがし北海道物産展」を開催した。沿線自治体の皆様により沿線の特産品などが販売され約1,500人の来場者があった。</p>	 <p>(令和4年1月22日撮影・釧路駅)</p>



4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(3)「THE ROYAL EXPRESS」沿線におけるおもてなし</p>	<p>8月～9月「THE ROYAL EXPRESS」が運行された。釧路駅、標茶駅、川湯温泉駅、知床斜里駅などで地域の皆様による歓迎セレモニー、お見送りを行った。また、北浜駅海岸付近では地域の皆様による歓迎の大漁旗、手旗でご乗車のお客様に釧網線の魅力をPRした。</p>	 <p>(令和3年8月22日撮影・北浜駅付近)</p>	○
<p>(4)「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」沿線におけるおもてなし</p>	<p>北海道を列車で巡る「HOKKAIDO LOVEひとめぐり号」が運行された。運行に合わせて、沿線地域の皆様による歓迎セレモニー、お見送り、車内での地域特産品の販売、網走駅では地元ボランティアによる車内ガイド案内等おもてなしを実施し、釧網線の魅力をPRした</p>	 <p>(令和3年10月23日撮影・川湯温泉駅)</p>	○

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5) 流水物語号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>網走市とオホーツク総合振興局は、流水物語号運転初日(1月29日)に、網走駅にて出発セレモニーを開催し、ご当地キャラクターによるお見送りを行った。また、浜小清水駅では小清水町によるお出迎え、お見送りを実施し、釧網線の魅力をPRした。</p>	 <p>(令和4年1月29日撮影・網走駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(6) 釧網線の魅力PR事業の実施</p>	<p>釧網本線維持活性化協議会とWILLER(株)は、9月18日「釧網線リモートトラベル」を実施した。沿線の風景などの映像をオンライン配信し、有名タレントと同時に視聴して、共に旅行したような気分を味わっていただき、今後の需要喚起につなげる取り組みを行った。</p>	 <p style="text-align: center;">○</p>

5. 令和3年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、釧網線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 観光列車利用促進の取組やキャンペーンの展開などに地域の皆様と取り組み、観光線区としての線区特性を発揮した。
- ・ 線路の持続性を維持するため、令和3年度においても「線路集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・ 釧網線アクションプラン実行委員会にはWILLERも参画しており、将来の需要喚起のため、リモートトラベルを実施した。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲255百万円、輸送密度は▲129人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 今後においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、挽回施策などにより線区収支改善を図る。

I. 利用促進
1 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	統計値では掌握しがたいお客様の層等を掌握するため実態調査の実施	JR北海道 全自治体	—															
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	JR北海道 全自治体	○															
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組																	
	ア. 広報誌やホームページ等を活用し鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	○															
	イ. マイレール運動の提唱	自治体	○															
	②「COOL CHOICE」の取組みやノーマーカーデー等実施による鉄道利用促進	自治体	○															
	③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について 利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	—															
	④友好都市厚木市からの小学生訪問団が、社会教育の一環として釧網線に乗車、線区に関する説明やPRを行う※	自治体	—															
	⑤小学生による駅舎ペインティング※	自治体	—															
	⑥生活科見学の一環としてJR体験乗車の実施	自治体	○															
⑦幼稚園児によるJR体験乗車	自治体	○																

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	○														
	②サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の 充実	○														
(2) 公共交通の利用促進	①マイレール意識の醸成に向け鉄道利用をよびかける とともに乗車運賃等への助成	△														
	②学生の通学定期券購入に対する助成制度の検討	△														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 国内外から釧網線にお越しいただくための取組	①観光列車の運行																
	ア. くるもろ原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力※	JR北海道 自治体	○														
	イ. SL冬の湿原号の利用増、運行に対するご協力、SL協議会開催	JR北海道 自治体	△														
	ウ. 流氷物語号の利用増、運行に対するご協力	JR北海道 自治体 その他	○														
	②商品造成やキャンペーンの実施																
	ア. LCCと釧網本線をセットした商品の継続・増売	JR北海道	○														
	イ. 鉄道を利用する観光客への助成	JR北海道 自治体 その他	○														
	ウ. 駅を発着し観光地・観光施設を巡るバスの運行※	自治体	○														
	エ. 観光施設巡りバスの運行	JR北海道 自治体 その他	○														
	③閑散期の需要創出 「フリーバス」等を活用した釧網線利用促進の取組	JR北海道	-														
	④PR活動の実績 各種媒体によるPR	協議会 JR北海道	○														
	⑤観光案内所の充実 観光案内所において、鉄道利用観光客への対応充実を図る	自治体	○														
	⑥宣伝協力																
	ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力	JR北海道 全自治体	-														
	イ. 管内各駅での宣伝協力	JR北海道	-														
⑦その他																	
ア. スマホを使った観光案内・外国語対応の実施	JR北海道	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
	⑧釧網線90周年事業の取り組み	自治体 JR北海道	◎														
	⑨「くしろ鉄道めぐり」インスタキャンペーンの実施	北海道	◎														
(2) 外部事業者との連携	観光鉄道としての利用促進の取組	全自治体 WILLER JR北海道 その他	○														
(3) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用※	自治体 JR北海道 その他	—														
	②観光列車等利用促進や、駅装飾等にぎわいの創出に 取り組む市民団体等に対する助成	自治体 その他	○														
	③沿線でのイベント・施設などに関する情報共有や利用 の働きかけ※	全自治体 その他	○														
	④ヘルシーウォーキングやエコツーリズム推進に伴う ロングトレイル構想による利用促進	JR北海道 自治体	○														
	⑤釧網線とアクティビティをセットしたサービスの展開 温泉・カヌー体験等	自治体 北海道 JR北海道 その他	○														
	⑥鉄道を利用した長期滞在者との交流事業※	自治体	—														
	⑦「オホーツクSEA TO SUMMIT」の開催において、釧網 線を活用したコース設定により、釧網線のPRと利用促 進を図る※	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑧ ふるさと納税返礼品等	自治体	—														
	⑨「THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN」 沿線におけるおもてなし	全自治体 北海道 JR北海道	○														
	⑩ 釧網線の利用促進を目的としたツアーの実施	協議会	○														
	⑪「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」運転 沿線におけるおもてなし	全自治体 北海道 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張等での鉄道利用	官公庁、域内事業者等による、出張等での鉄道利用の促進	全自治体 その他	○														

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談 観光案内や通訳業務等、SL期間中 学生外国語通訳、ボランティア※	自治体 その他	-														
	②業務のお手伝いをお願い ア. 無人駅の施設管理	自治体	○														
	イ. 除雪係員確保のお願い 等	自治体	○														
	ウ. 駅前除雪	自治体	○														
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	自治体 JR北海道	-														
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	自治体 JR北海道	○														
	③ご利用の少ない駅トイレの利用停止についての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

Ⅲ. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について 徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の 皆様と検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道	-															
	②2次交通との連携に向けた検討	全自治体	-															
	ア. 鉄道とバスの連携による相互に成り 立つ仕組み作りに向けた検討の開始	北海道 JR北海道 その他																
イ. 地域公共交通計画の策定 鉄道、バスなどの連携による地域に 最適な公共交通の検討	網走市 JR北海道 その他 北海道	-																
(2) 街づくりについての検討	駅都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	○															
(3) その他地域の皆様と 一体となった取り組み	相互連携の検討	全自治体 北海道 JR北海道 その他	-															
(4) 鉄道設備を維持するための 取り組みの検討	鉄道設備を維持するため、集中工事等を実施する仕組み 作りを関係自治体と協議し行う。	全自治体 北海道 JR北海道	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
花咲線

令和4年8月

花咲線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、花咲線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、花咲線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実証的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,160百万円となり、基準とした平成29年度より50百万円下回った。
営業収益は、前年が新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少した反動等により、対前年26百万円増加した129百万円（対前年125%）となった。
営業費用は、動力費が増加したが、修繕費が減少したことにより、対前年7百万円減少した1,289百万円（対前年99%）となった。
線区別収支は結果として、対前年33百万円増加した。
- ・輸送密度は、174人/日となり、基準とした平成29年度より90人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,110百万円	▲1,160百万円	▲50百万円	未達成
輸送密度	264人/日	174人/日	▲90人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が3%、達成見込み「○」が62%、一部達成「△」が5%、未評価「－」が29%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	2	3%	花咲線100周年の取組、「くしろ鉄道めぐり」インスタキャンペーン
○	36	62%	花咲線利用可能性調査、運賃助成、首都圏での宣伝など
△	3	5%	列車内ご当地弁当の取組など
－	17	29%	あるべき交通体系の検討など
合計	58	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1)ご利用の少ない駅の廃止による維持管理費の節減</p>	<p>地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正で糸魚沢駅を廃止した。廃止前日(3月11日)には、同駅に停車する列車に対して地元住民の方々による横断幕を掲げ、お見送りを行った。</p>	 <p>(令和4年3月11日撮影・糸魚沢駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(2)花咲線100周年事業の取り組み</p>	<p>花咲線全通100周年記念キックオフイベントを開催した。4月3・4日の2日間、記念ラッピング列車を釧路駅に展示するなど、周年ムードを盛り上げるとともに花咲線沿線の見どころをPRした。</p>	 <p>(令和3年4月3日撮影・釧路駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(2)花咲線100周年事業の取組み</p>	<p>根室市は、花咲線全通100周年記念として「はじめての鉄道旅。」を実施した。7月～10月まで、根室市内の幼稚園児や保育園児(約200名)が切符を模した乗車記念証を手にしながらJRの体験乗車を楽しんだ。</p>	<p>◎</p>
<p>厚岸町と浜中町は花咲線全通100周年記念として、厚岸駅にて「歓迎おもてなし」を実施した。8月7日、自治体関係者や地元の方々による横断幕や手振り等を行い、お客様に地元の特産品をプレゼントした。</p>	 <p>(令和3年7月5日撮影・根室駅)</p>  <p>(令和3年8月7日撮影・厚岸駅)</p>	

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)花咲線利用可能性調査事業の実施</p>	<p>根室市は、冬期における花咲線利用可能性調査事業として、12月4日から3月10日までの土・祝日及び大人の休日倶楽部パス設定期間に2両運転を実施した。車両は「森の恵み号」を使用し、テーブル付きの座席でゆったりと花咲線を楽しんでいただく取り組みを行った。</p>	<p>○</p>
<p>根室市は、冬期における花咲線利用可能性調査事業として、2両運行を行っていることをPRするポスターやパンフレットを作成した。根室駅・釧路駅をはじめとする沿線各駅や札幌駅などでも掲出した。</p>	 <p>(令和3年12月4日撮影)</p>  <p>(令和4年3月1日撮影・釧路駅)</p>	

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(4) 高齢者等の移動に対する運賃補助</p>	<p>根室市、浜中町、厚岸町では、高齢者優待乗車券等交付事業を行った。花咲線も利用することができ、地域の皆様の日常生活における交通手段として多くのお客さまにご利用されている。</p>	
<p>(5) コストダウンの取組に対するご理解</p>	<p>茶内駅トイレの老朽化が著しいため、浜中町は、町営のデマンドバスの待合所の機能も併せ持つ施設として公衆トイレを新たに設置した。お客さまの利便性が向上したことに加え、駅トイレを使用停止することで花咲線の経費節減につながった。</p>	

5. 令和3年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、花咲線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 花咲線利用可能性調査事業を行い、観光線区として線区の活性化を図るための施策の検討を行った。
- ・ 花咲線全線100周年を記念し、幼稚園児や保育園児を対象とした「はじめての鉄道旅。」など各種取り組みを行った。
- ・ 経費節減を図るため、ご利用の少ない糸魚沢駅を令和4年3月ダイヤ改正で廃止した。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲50百万円、輸送密度は▲90人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 今後においても、引き続き観光利用増に向けた取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の線区収支改善を図る。

I. 利用促進

1 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を掌握する実態調査の実施。※11月の乗降人員調査とは別に行う ・利用目的 (日常利用／観光利用／広域交通) ・お客様の属性 (性別／年齢／居住地等) ・その他	JR北海道 全自治体	—															
	②花咲線利用可能性調査の実施 ・夏場の繁忙期における試験運行の実施 (繁忙期の一部列車に車両を1両増結) ・利用可能性調査の実施 (今後の運行可能性を調査) ・調査結果に基づく意見交換、施策検討	自治体 JR北海道	○															
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—															
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組 ・広報誌やホームページ等を活用し 鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	○															
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	—															
	③生活科見学の一環としてJR体験乗車及び駅業務見学の実施	自治体 JR北海道	—															
	④「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー実施による鉄道利用促進	自治体	○															
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進 ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善など	全自治体 JR北海道 その他	○															

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(5) 拠点としての駅の活用	③駅舎の整備																
	ア. 待合室の駅設備の改修など ・釧路駅待合室の維持・管理	JR北海道	○														
	イ. Wi-Fi環境の維持・管理	JR北海道	○														
(6) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体															
	ア.公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	北海道 JR北海道	○														
	イ.鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携		○														
	ウ.本道における鉄道網の重要性や地域の取組等を全国へ発信		○														
	エ.感染症により失われた公共交通需要の回復		○														
(7) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	駅的环境美化の取り組み ・駅前花壇整備	自治体 その他	○														

2 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害時発生時等の運休等の情報内容の充実 ・ホームページでの運行情報の充実 ・外国語での運行情報の充実(ポケットーク試験導入) ・ツイッターを活用した大規模輸送障害時における情報発信	JR北海道	○															
(2) 公共交通の利用促進	①乗車運賃等への助成制度導入																	
	ア. 市民団体等と連携したイベント等の企画・実施・協力、並びに活動団体に対する助成制度の創設	自治体	○															
	イ. 幼稚園、学校行事等に対する補助	自治体	○															
	ウ. 高齢者等の移動に対する運賃補助など ・高齢者への運賃補助	自治体																
	・福祉回数券のJR利用拡大		○															
	・福祉交通回数券のJR利用拡大																	
②シンポジウム、意見交換会の実施																		
ア. 行事等で鉄道利用を促進・要請(幼稚園・保育所、学校、自治体行事、市民団体等に要請、並びにマイレール意識向上のための講演会等の開催)	自治体	-																
イ. 行事等での鉄道利用を実施する団体数	自治体	○																

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
							R1		R2		R3		R4		R5					
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(3) 道内外から花咲線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施																			
	ア. ひがし・きた北海道キャンペーン等の継続、関連商品の増売 (ひがし・きた北海道フリーきっぷ、ひがし北海道フリーきっぷ等)	JR北海道 その他	○																	
	イ. 花咲線を意識したツアー(ガイド付サイクリングツアー等)の企画・実施	自治体 JR北海道 その他	—																	
	ウ. 首都圏(駅・空港・展示場・集会場等)での宣伝協力(ポスター等の掲出・利用促進プロモーション等の実施)	自治体	○																	
	エ. 旅行企画造成依頼(首都圏・関西圏の旅行者に対して花咲線を利用した商品企画を提案)	自治体	—																	
	②閑散期の需要創出 ・「大人の休日倶楽部パス」を活用した花咲線利用促進の取組	JR北海道	—																	
	③宣伝協力																			
	ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	自治体 JR北海道	○																	
	イ. 管内各駅での宣伝協力 (ポスター・パンフ掲出及び地元PR活動)	JR北海道	○																	
	④100周年事業の取り組み																			
	ア 花咲線100周年記念ロゴ作成	JR北海道	◎																	
	イ 花咲線各駅への装飾																			
	ウ 「花咲線全通100周年記念」入場券などの販売																			
	エ 周年記念2021(釧路駅の実施)																			
	⑤「くしろ鉄道めぐり」インスタキャンペーンの実施	その他	◎																	

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用																
	ア. パンフレットやHPの作成連携	自治体	○														
	イ. 沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の企画・実施・協力 ・ヘルシーウォーキング (いつでもウォーク、根室駅・厚岸駅)	JR北海道 全自治体 その他	○														
	ウ. 特産品・グッズ等の企画・販売	JR北海道 その他	○														
	エ. 観光協会事業(町民向けツアー)で花咲線列車を利用した事業の実施	自治体 JR北海道	○														
	オ. 観光イベント開催時において列車発着にあわせた無料シャトルバスの運行 ・さんま祭り(根室市)	自治体 JR北海道	○														
	②SNSでのJR企画等の情報発信	自治体 その他 JR北海道	—														
③厚床中学生によるすずらん贈り	その他 JR北海道	○															
⑤鉄道を利用した長期滞在者との交流事業	自治体	—															

4 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張時の鉄道利用	①官公庁・域内事業所等において札幌などまでの出張時に、花咲線利用に取り組む	全自治体 JR北海道	○															

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 設備の見直しやスリム化によるコスト削減	①当社の行き届かない取組に対するご協力																	
	ア 駅前広場の除雪	自治体	○															
	イ 駅舎内トイレ清掃	自治体	○															
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議 (協議は各自治体と個別に行う)	全自治体 JR北海道	○															
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議 (協議は各自治体と個別に行う)	全自治体 JR北海道																
	ア 冬季閉鎖		○															
	イ 踏切廃止		—															
	③ご利用の少ない駅トイレの利用停止についての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○															

Ⅲ. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道 その他	-															
	②2次交通と連携に向けた検討 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道 その他	-															
(2) 中長期的な駅の活用策についての検討	駅の活用策の検討 ・駅をリノベーションし、地域の皆様に自由に使って頂き、駅を活用することの検討	自治体 JR北海道	-															
(3) 街づくりについての検討	駅都心部まちづくりの検討	自治体 北海道 JR北海道 その他	○															
(4) その他地域の皆様と一体となった取組	相互連携の検討	全自治体 北海道 JR北海道	-															

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
石北線

令和4年8月

石北線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、石北線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、石北線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実証的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲4,819百万円となり基準とした平成29年度より576百万円下回った。
営業収益は、地域住民を対象とした運賃等への助成制度などの利用促進に取り組んだほか、新型コロナウイルス感染症の影響から利用が一部回復したことで対前年30百万円増加した634百万円（対前年105%）となった。
営業費用は動力費や、線路や橋梁の修繕が増加したこと等により315百万円増加した5,454百万円（対前年106%）となった。
線区別収支は結果として対前年286百万円減少した。
- ・輸送密度は448人/日となり目標とした平成29年度より443人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲4,243百万円	▲4,819百万円	▲576百万円	未達成
輸送密度	891人/日	448人/日	▲443人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

(1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が8%、達成見込「○」が79%、未評価「－」が13%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	7	8%	261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE!」お披露目運転の賑やかしや「駅舎オープン周年記念企画」等の項目において目標達成。
○	68	79%	「石北線を知っていただく利用促進動画の配信」や列車利用の「えきをめぐるなぞときのたび」、「ミステリートレイン」や地域の皆様と連携した「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の賑やかし等の項目において達成見込。
△	0	0%	
－	11	13%	「シンポジウムの開催」や「リーフレットの作成」等の項目において未評価。
合計	86	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 線区の維持管理費節減の取り組み</p>	<p>令和3年4月より、経費節減を図るため「ご利用の少ない無人駅の見直し」を行い瀬戸瀬駅の維持費負担と管理を遠軽町で行うこととなった。4月に遠軽町の関係者の皆様を対象に安全講習会を開催し、駅管理について確認を行った。</p>	 <p>(瀬戸瀬駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(2) 多目的特急車両「ラベンダー編成」おもてなしの実施</p>	<p>5月15日と16日に多目的特急車両「ラベンダー」編成が特急オホーツク1号と特急大雪4号として運行した。端野駅周辺では地域の皆様が小旗を振って歓迎おもてなしを実施した。</p>	 <p>(5月15日撮影・端野駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)「THE ROYAL EXPRESS」のおもてなし実施</p>	<p>「THE ROYAL EXPRESS」の運転日に各停車駅で沿線地域の皆様による手旗や横断幕、太鼓演奏などでお出迎えとお見送りのおもてなしを実施し沿線地域の魅力をPRし、石北線の利用促進を図った。</p>	 <p>(8月15日撮影・遠軽駅)</p>
<p>(4)設備故障時における案内看板の設置</p>	<p>北見市が踏切故障時における迂回等のご案内にご協力をいただいた。西北見駅～北見駅間の西5号線踏切が8月26日から翌27日まで故障し、使用できなかつた際、「踏切誘導看板」を設置した。</p>	 <p>(8月27日撮影・北見市)</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5)「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり」号のおもてなしの実施</p>	<p>北海道を列車で巡る「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」の運行に際し、沿線地域の皆様による歓迎セレモニー、お見送りの実施、車内での地域特産品の販売、北見駅では「菊まつり」開催等おもてなしを実施し沿線地域の魅力をPRし、石北線の利用促進を図った。</p> <div data-bbox="1267 467 1865 863" data-label="Image"> </div> <p>(10月11日撮影・上川駅・高校生による車内販売)</p>	<p>○</p>
<p>(6)「ちびっこ鉄道・バス乗車体験ツアー」の実施</p>	<p>オホーツク総合振興局は、管内の小学生を対象に列車とバスの乗車体験ツアーを実施した。網走駅では列車の乗り方、きっぷの買い方などを学び、端野駅までJRに乗車し、鉄道に関する理解を深めた。</p> <div data-bbox="1303 927 1850 1337" data-label="Image"> </div> <p>(10月16日撮影・網走駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(7) 石北線利用促進動画の配信</p>	<p>北見市は、石北線の利用促進を目的に動画を4回に分けて作成した。第1回目は「石北線って何?」というテーマで2月21日に配信し石北線の駅、車両などの基本情報、成り立ちや由来等について配信し石北線をPRした。</p> <div data-bbox="1279 483 1865 903"> <p>「石北本線」の由来 旧国名の石狩国と北見国の頭 の二文字をとって 石北線</p> <p>網走までつながり、 相生線支線ができたから 石北本線</p> <p>みんなで守ろう 石北本線</p> <p>北見市鉄道活性化協議会</p> </div> <p>(第1回目:2月21日配信)</p>	<p>○</p>
<p>(8) 「新型車両H100形」の乗降方法について広報誌に掲載</p>	<p>当麻町と愛別町では、3月のダイヤ改正より旭川から上川間に導入されたH100形の乗降方法について、町の広報誌で町民の皆様にお知らせした。</p> <div data-bbox="1290 975 1865 1366"> <p>H100形車両の乗降ドアは自動で開きません。お客様ご自身で先頭ドア横のボタンを押してドアを開け、乗り降りしてください。(一部の駅・列車では全てのドア横のボタンが操作できます)</p> <p>乗るとき When you get on: 上車 上車 上車 上車</p> <p>列車に乗るときはボタンを押してお乗りください。 From the button when you get on the train. 上車ボタンを押してください。上車ボタンを押すとドアが開きます。</p> <p>降りるとき When you get off: 下車 下車 下車 下車</p> <p>駅に降りたとき、ボタンを押してお降りください。 Push the button when you get off the train. 下車ボタンを押してください。下車ボタンを押すとドアが開きます。</p> <p>「JR 新型車両の導入について」 旭川駅～上川間の旭川線に、新型車両「H100形」が導入されます。この車両は、従来の車両と異なり、乗降ドアが自動で開かず、乗客が自分でボタンを押して開く仕組みです。乗降の際は、乗車ボタンと降車ボタンを押す必要があります。乗降の際は、乗車ボタンと降車ボタンを押す必要があります。</p> </div> <p>(2月号の愛別町広報誌)</p>	<p>○</p>

5. 令和3年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、石北線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 運賃等への助成制度を設け都市間輸送の利用促進に取り組んだ。
- ・ 線路の持続性を維持するため、「線路集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・ 「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」や「THE ROYAL EXPRESS」の観光列車が運行した際に、沿線地域の皆様による歓迎セレモニーや車内販売等のおもてなしを実施し、石北線利用時に行くことができる地域の魅力をPRした。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲576百万円、輸送密度は▲443人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 今後においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、挽回施策などにより線区収支改善を図る。

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(3) マイレール意識醸成	エ. 公共交通ご当地キャラクターイベントパンフレット等への掲載、グッズの作成・配布	自治体	○														
	オ. 利用促進パネル展の実施	自治体	○														
	カ. 鉄道施設見学ツアーの実施	自治体	—														
	⑥リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	—														
	⑦鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施※	JR北海道	○														
	⑧マイレール運動の提唱	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携																
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	○															
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携	○															
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信	○															
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 道内外から石北線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施航空会社と連携した利用促進																
	ア. JAL/JR北海道 ひがし&きた北海道キャンペーンの実施	JR北海道	○														
	イ. LCCとタイアップしたフリーバスの設定	JR北海道	○														
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーバスを活用した石北線利用促進の取組	JR北海道 その他	○														
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	-														
	④鉄道利用旅行者への助成制度の導入※	自治体	○														
	⑤民間団体等による利用促進活動 に対する支援	自治体	○														
	⑥観光列車「流水物語号」の運転 ・流水物語号の魅力向上に向けた取組	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑦施設巡りバスによる着地型観光交通の取り組み	自治体 その他	○														
⑧オンデマンドバスの観光利用とシームレス交通の検討 (駅、バスターミナル、観光地・施設等の連携)	自治体	○															
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様にお出かけを呼びかけ																
	ア. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○														
	イ. ご当地キャラクターによる乗車 イベントの実施※	自治体 JR北海道	○														
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施※	自治体 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	エ. 鉄道周辺施設等の情報提供による鉄道利用の働きかけ	自治体	○																	
	オ. 市内のえきをめぐるなぞときのたび※ (追加)	自治体	○																	
	カ. ミステリートレイン (追加)	自治体	○																	
	②地域のお祭りやイベント等の告知などによる鉄道利用促進																			
	ア. 駅前広場のイベント活用による賑わいの創出※	自治体 その他	○																	
	イ. 駅舎のイベント活用による賑わいの創出※	自治体 その他 JR北海道	○																	
	ウ. 地域イベントへの列車来場の誘引※	自治体 JR北海道	—																	
	③観光資源の積極的な活用																			
	ア. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR	自治体	○																	
	イ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成・配布	自治体	○																	
	ウ. 鉄道カレンダーの作成	自治体	○																	
	エ. フォトギャラリーコンテスト	全自治体	◎																	
	④パンフレットやHPの作成連携																			
	ア. JR路線案内も含めた観光案内の実施※ HP, パンフレット等への掲載, 旅行代理店等への利便性のPR	自治体	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
⑤特急列車内の特産品販売※ ・石北線における実施	全自治体 JR北海道 その他	○														
⑥サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○														
⑦市民団体等による賑わいの創出に対する助成	自治体 その他	○														
⑧「THE ROYAL EXPRESS」運行に伴う賑やかしの実施。※	自治体 JR北海道	○														
⑨261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE!」 お披露目運転と賑やかしの実施。※ (追加)	全自治体 JR北海道	◎														
⑩「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」運行に伴う 賑やかしの実施。※ (追加)	自治体 JR北海道	○														
⑪駅舎オープン周年記念企画 (追加)	自治体 JR北海道	◎														

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 出張や学校行事、都市間 移動等での鉄道利用	①官公庁、城内事業所等による出張等での 鉄道の促進	全自治体 その他	○													
	②学校行事等での鉄道利用促進															
	ア. 修学旅行、合宿等におけるJR 利用の呼びかけ	自治体	○													
	イ. 課外活動等におけるJR利用の 呼びかけ	自治体	○													
③えきねっとくだ値による需要や動向を 踏まえた割引の設定	JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○														
	②当社の行き届かない取組について自治体側での実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○														
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し ※令和3年度より自治体による維持管理する駅	自治体 JR北海道	○														
	②ご利用の少ない踏切の見直し	自治体 JR北海道	—														
	③中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	○														

III. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討	全自治体 北海道 JR北海道 その他	—														
	②2次交通との連携に向けた検討																
	ア.鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	自治体 北海道 JR北海道	◎														
	イ.地域公共交通計画の策定	自治体	◎														
	ウ.地域公共交通会議等の活用及び推進	自治体 JR北海道	○														
(2) 鉄道施設を維持するための取組の検討	①中長期的に鉄道施設を維持するため、集中工事等を実施する仕組み作りを関係自治体と協議し行う。	全自治体 北海道 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
宗谷線

令和4年8月
宗谷線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、宗谷線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、宗谷線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実証的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲6,024百万円となり基準とした平成29年度より460百万円下回った。
営業収益は新型コロナウイルス感染症の影響からの一部回復により、対前年42百万円増加した644百万円（対前年107%）となった。
営業費用は新型車両の投入による減価償却費増などにより299百万円増加した6,668百万円（対前年105%）となった。
線区別収支は結果として対前年257百万円減少した。
- ・輸送密度は、目標とした平成29年度に対し名寄・稚内間において174人/日となり178人/日減少し、旭川・名寄間において845人/日となり607人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲5,564百万円	▲6,024百万円	▲460百万円	未達成
輸送密度 (名寄～稚内)	352人/日	174人/日	▲178人/日	未達成
輸送密度 (旭川～名寄)	1,452人/日	845人/日	▲607人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

(1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が9%、達成見込み「○」が71%、一部達成「△」が1%、未評価「－」が19%となった
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
「◎」	10	9%	市民限定ツアー、JR宗谷線で行く子ども体験学習ツアーの実施
「○」	81	71%	通勤・出張等の際の鉄道を含めた公共交通機関利用の呼びかけ
「△」	1	1%	駅前広場のイベント活用
「－」	22	19%	「リーフレットの作成」等の項目において未評価
合計	114	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 駅的环境美化の取組</p>	<p>5月20日名寄産業高校家庭クラブの皆様から名寄駅待合室の椅子に敷く手作り座布団が寄贈された。緑色と青色の花柄の生地を使った手作りの新しい22枚の座布団が寄贈され、これまで使用したものと交換した。</p>  <p>(令和3年5月20日撮影・名寄駅)</p>	<p>○</p>
<p>(2) 線区の維持管理費軽減の取組</p>	<p>令和3年度より、経費節減を図るため「ご利用の少ない無人駅の見直し」を行い宗谷線17駅の維持費用負担と管理を沿線自治体で行うこととなった。4月に各沿線自治体の関係者の皆様を対象に安全講習会を開催し、駅管理について確認を行った。</p>  <p>(下沼駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)市内の駅を巡るイベントの実施</p>	<p>旭川市では、鉄道利用促進イベントを実施した。市内の鉄道駅の存在を知ってもらうため「なぞとき手帳」を持って駅に下車し、謎解きに挑戦するイベントを7月24日から8月15日まで実施した。</p> 	<p>○</p>
<p>(4)駅の維持管理の取組</p>	<p>名寄市は、令和3年度より智北、日進の維持・管理を行っている。7月26日には名寄市職員による智北駅の待合室の修繕及びホーム登り口・ホーム鉄柵のペンキ塗りが行われた。</p>  <p>(令和3年7月26日撮影:智北駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5)「市民限定ツアー」を実施</p>	<p>稚内市は、JRを利用する市民限定ツアー(1泊2日)を10月に3回実施した。参加者56名は稚内駅から旭川駅までラベンダー編成に乗車し、旭川駅のバックヤード見学や上川管内の観光地を巡り、鉄道旅を楽しんだ。</p>	 <p>(令和3年10月23日撮影稚内駅・旭川駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
<p>(6)「子ども体験学習ツアー」を実施</p>	<p>旭川市は、「JR宗谷線で行く！子ども体験学習ツアー」を実施した。参加者22名は旭川駅できっぷの買い方などを学び、旭川駅から剣淵駅までJRに乗車した。また、剣淵町の「絵本の館」にて絵本づくりを体験し、宗谷線の魅力を学習した。</p>	 <p>(令和3年 10月16日撮影・旭川駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(7) 名寄高校駅供用開始</p>	<p>名寄市は、3月12日に東風連駅から移設・改称となった名寄高校駅で「供用開始セレモニー」を開催した。生徒作成のサインボード除幕、JRからは東風連駅メモリアルボード寄贈等が行われ、名寄高校吹奏楽部による演奏が行われた。</p>	 <p>(令和4年3月12日撮影・名寄高校駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(8) 駅の廃止による地元主催のお別れ会の実施</p>	<p>3月のダイヤ改正で廃止となった歌内駅では、廃止前日(3月11日)に地元主催の「お別れ会」が開催された。ホームに集まった地域の皆様が横断幕を掲げ、最後の列車を見送った。</p>	 <p>(令和4年3月11日撮影・歌内駅)</p>	<p>◎</p>

5. 令和3年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と沿線自治体等が一体となってアクションプランに取組み、効果をあげることができた。
- ・令和3年4月より、ご利用の少ない17駅について沿線自治体からの管理のための費用や人的な提供により線区の経費節減に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により様々な取組みが中止となったが、観光列車「花たびそうや」運行に向けて沿線自治体等とJR北海道の協力により諸準備を整えることができた。また、鉄道旅を親しんでもらう市民限定ツアーや体験学習ツアーなどを実施し、宗谷線沿線地域と連携した取組みを行った。
- ・高校通学利用者の利便性向上のため、高校の近くに駅を移設し、あわせて駅名を改称することで、鉄道の利用を促進する取組みを行った。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲460百万円、輸送密度は旭川～名寄▲607人／日、名寄～稚内▲178人／日となり目標は未達成にある。
- ・今後においても、沿線自治体等と連携した取組みを行うとともに、経費節減を推進し、線区収支改善を図る。

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(5) 拠点としての駅の活用	④駅の活用																
	ア. 駅の一部を移住促進の相談コーナーとして使用	自治体 JR北海道	○														
	イ. 駅の未使用空間の利活用	自治体	○														
	ウ. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑤駅の利便性の向上																
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保、きっぷの販売等																
	ア. 駅におけるきっぷ販売	自治体 JR北海道	○														
(7) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①協議会等での取り組み	全自治体 JR北海道 その他	○														
(8) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携																
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開		○														
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携	全自治体 北海道 JR北海道	○														
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信		○														
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復		○														
	オ. 子ども鉄道体験ツアー (追加)	自治体	○														
	カ. 定期列車の観光利活用の取り組み	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運行情報等の内容充実 ・ホームページでの運行情報の充実 ・外国語での運行情報の充実	JR北海道	○														
	②駅移設による利便性の向上 (追加)	JR北海道	◎														
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入																
	ア. 高齢者へのJR回数券の交付	自治体	○														
	イ. 高校通学生への通学補助	自治体	○														
	ウ. JR乗車運賃等への助成	自治体	○														
	エ. 市民限定ツアーの実施 (追加)	自治体	◎														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 道内外から宗谷線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーバスの設定	JR北海道	○														
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーバスを活用した宗谷線利用促進の取組	JR北海道 その他	○														
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力※	JR北海道 自治体 その他	—														
	④観光列車「花たびそうや」運転による地域と一体になったおもてなし、賑やかしの取組※	JR北海道 全自治体 その他	—														
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象としたお出かけの呼びかけ																
	ア. 地域住民を対象とした日帰り旅行の実施	自治体	○														
	イ. 町民乗車票販売による利便性確保	自治体 JR北海道	○														
	ウ. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○														
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進																
	ア. 友好都市との各種イベントでのPR※	自治体	—														
	イ. 駅等におけるイベントの実施	自治体	○														
	ウ. 駅前広場のイベント活用※	自治体 その他	△														
	エ. 駅マルシェの開催※	自治体	—														
	オ. イベント時のJR利用者に対する 特産品プレゼント※	自治体	—														
	カ. さっぽろオータムフェストほか地域外イベントでの宗谷線PR※	自治体	—														
	キ. 鉄道関連イベントの実施による鉄道利用促進の取り組み※	自治体	—														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	ク. 駅舎内交流スペースを活用した地域住民(実行委員会)によるイベントの実施※	自治体	○														
	ケ. 駅舎のイベント活用※ 駅マルシェの開催、パネル展実施	自治体 JR北海道	○														
	③観光資源の積極的な活用																
	ア. 駅舎や車両を題材とした絵画コンクール等の実施	自治体	○														
	イ. 駅保存のための「ふるさと納税」創設、保全イベントの実施	自治体 JR北海道	○														
	ウ. 冬季における鉄道沿線での撮影者に対するマナー啓発及び沿線PR活動	自治体	○														
	エ. 宗谷本線や沿線写真展の開催※	自治体	-														
	オ. 沿線観光名所の整備及び名所を活用したイベントの開催	自治体 JR北海道	○														
	カ. サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○														
	キ. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR	自治体	○														
	ク. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成配布	自治体	○														
	ケ. 駅開駅100周年記念企画の実施	自治体	-														
	コ. 宗谷線をテーマとしたツアーイベント※ (追加)	自治体	-														
	サ. 市内のえきをめぐるなどときのたび (追加)	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	シ. JR宗谷線で行く「子ども体験学習ツアー」 (追加)	自治体	◎															
	④パンフレットやHPの作成連携																	
	ア. イベントパンフレットや観光案内パンフレットによるJR利用の呼びかけ	自治体	○															
	イ. 観光パンフレットで町内各駅紹介	自治体	○															
	ウ. 秘境駅キャラクター利活用(名刺・ラインスタンプ等)	自治体	○															
	エ. ホームページによる情報発信	自治体	○															
	⑤宗谷線を組み入れた旅行会社等と協力したイベント等の企画・実施																	
	ア. 利用促進等市民ツアーの実施	自治体	○															
	⑥特産品・グッズ等の企画・販売																	
	ア. 地元限定宗谷本線グッズの販売およびふるさと納税返礼品化	自治体	○															
	イ. 駅PRグッズ販売、ふるさと納税返礼品化	自治体	○															
	ウ. 鉄道利用促進記念証等制作販売	自治体	○															
	エ. 地元限定宗谷本線グッズの販売	自治体	○															
	オ. 宗谷本線グッズのふるさと納税返礼品化 (追加)	自治体	◎															
	⑦特急列車内の特産品販売・宗谷線における継続実施※	自治体 JR北海道 その他	-															
	⑧サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○															
⑨駅新駅舎グランドオープン周年記念企画 (追加)	自治体 JR北海道	◎																

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や都市間移動等での鉄道利用	①官公庁における出張時の鉄道利用の取り組み																
	・出張時の鉄道利用促進	自治体	○														
	②学校行事等での鉄道利用促進 課外活動等におけるJR利用の呼びかけ	自治体	○														
	③えきねっとトクだ値による需要や 動向を踏まえた割引の設定	JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願い することによる経費 圧縮	①業務委託の実施	自治体 JR北海道	○														
	②業務委託のご相談	自治体 JR北海道 その他	—														
	③業務のお手伝いのお願い	自治体 JR北海道 その他	—														
	④当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑤駅舎、待合室の自治体等による維持管理	自治体	○														
(2) コストダウンの取組 に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し	自治体 JR北海道	○														
	②駅廃止に伴う企画実施 (追加)	自治体	◎														
	③ご利用の少ない踏切の見直し	自治体 JR北海道	—														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

Ⅲ.その他

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①さらに利用されるダイヤの構築の研究	自治体 JR北海道 その他	○															
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道	○															
(2) 中長期的な利用促進策についての検討	①中長期的な視点に立った利用促進の可能性について検討	自治体 JR北海道 その他	—															
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	自治体 JR北海道	○															
(4) 客貨混載の実施	①継続実施	JR北海道 その他	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
富良野線

令和4年8月

富良野線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、富良野線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、富良野線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実証的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線別収支は、▲1,101百万円となり基準とした平成29年度より103百万円下回った。
営業収益は「富良野・美瑛ノロッコ号」など観光列車の利用促進に取り組んだほか、Instagramを活用した富良野線の新たな魅力発見の取り組み等を行い241百万円（対前年100%）となった。
営業費用は、線路等の修繕や動力費が増加したことにより115百万円増加した1,342百万円（対前年109%）となった。
線別収支は結果として対前年115百万円減少した。
- ・輸送密度は960人/日となり目標とした平成29年度より637人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線別収支	▲998百万円	▲1,101百万円	▲103百万円	未達成
輸送密度	1,597人/日	960人/日	▲637人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

(1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が5%、達成見込「○」が75%、一部達成「△」が1%、未評価「-」が19%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	3	5%	「えきめぐりのたび」や「駅舎オープン周年記念企画」や地域の皆様と連携した「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の賑やかし等の項目において目標達成。
○	48	75%	「鉄道写生コンクールの実施」や「鉄道フォト・鉄道動画コンテストの実施」等の項目において達成見込。
△	1	1%	「富良野・美瑛ノロッコ号の運行」の項目において一部達成。
-	12	19%	「リーフレットの作成」等の項目において未評価
合計	64	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(1)「HOKKAIDO LOVE！FURANO号」のおもてなしの実施</p>	<p>多目的特急車両「ラベンダー」編成デビュー運行として、5月8日に「HOKKAIDO LOVE FURANO号」が富良野線を運行し、沿線の停車駅では、地域の皆様やご当地キャラクターによるおもてなしを行った。</p>	 <p>(5月8日撮影・上富良野駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(2)中富良野駅と上富良野駅に臨時観光案内所の設置</p>	<p>富良野・美瑛キャンペーンにあわせて、中富良野駅と上富良野駅に臨時観光案内所を設置して、訪れるお客様へ観光施設や地域の魅力のご案内を実施した。</p>		<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(3)「富良野・美瑛ノロッコ号」運転初日のおもてなし実施</p>	<p>富良野・美瑛ノロッコ号の運転初日となる7月10日に旭川駅、美瑛駅、上富良野駅、中富良野駅及び富良野駅で、ご当地キャラクターや地域の皆様によるお出迎えとお見送りのおもてなしを実施した。</p>	 <p>(7月10日撮影・上富良野駅)</p>	○
<p>(4)富良野線新たな魅力発見の取り組み</p>	<p>JR富良野線連絡会議では、富良野線の魅力を発掘する取り組みとして7月12日からInstagramを活用し富良野線の車窓から見えるおすすめ風景を募集し、鉄道の旅における新たな観光スポットをPRした。</p>		○

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(5)「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」のおもてなしの実施</p>	<p>10月24日「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の運転にあわせて、各停車駅で沿線地域の皆様やご当地キャラクターによるお出迎えやお見送り、特産品販売の他、美瑛駅では、太鼓演奏のおもてなしを実施した。</p>	 <p>(10月24日撮影・美瑛駅)</p>	<p>○</p>
<p>(6)JR富良野線鉄道絵画コンクールの実施</p>	<p>JR富良野線連絡会議は、鉄道絵画コンクールを実施した。旭川駅新駅舎グランドオープン10周年イベントにあわせ、11月23日に表彰式を行い、応募数107作品のなかから受賞した24作品を旭川駅で展示を行った。</p>	 <p>(11月23日撮影・旭川駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(7) 旭川駅前広場で「ゆっきリンク ASAHIKAWA」の実施</p>	<p>旭川市は、1月15日から2月13日まで旭川駅前広場にスケート場「ゆっきリンクASAHIKAWA」を設置した。親子連れがスケートを楽しむ光景が多く見られ、冬の旭川駅前広場の賑わいづくりを行った。</p>	 <p>(1月15日撮影・旭川駅前)</p>	<p>○</p>
<p>(8) 路線紹介パネル展示の実施</p>	<p>旭川市が2月8日から9日に、旭川市中央図書館で開催した旭川生涯学習フェアの会場に、路線紹介パネルを設置して富良野線の利用促進に取り組んだ。</p>	 <p>(2月8日撮影・旭川市中央図書館)</p>	<p>○</p>

5. 令和3年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、富良野線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・「富良野・美瑛ノロッコ号」や「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の運行に伴う賑やかしやおもてなしを地域の皆様が一体となって取り組みを行った。
- ・Instagramを活用して、富良野線の車窓から見えるおすすめの風景を募集して新たな観光スポットをPRした。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲103百万円、輸送密度は▲637人/日となり、目標は未達成にある。
- ・今後においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、挽回施策などにより線区収支改善を図る。

I. 利用促進

1.共通

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール															
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握したいお客様の層等を掌握するための実態調査実施※	JR北海道 自治体	○																
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	-																
(3) マイレール意識醸成	①通勤の際の鉄道を含めた公共交通利用促進																		
	ア. 市職員及び市内事業者のエコ通勤への取組	自治体 その他	○																
	イ. ノーカーデーに対する積極的な取組	自治体	○																
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	-																
	③鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施※	JR北海道 自治体	-																
	④公共交通機関利用の呼びかけ																		
	ア. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	全自治体	○																
	イ. イベント実施時のJR利用促進PR会場でのチラシ配布	自治体	○																
	ウ. 鉄道施設見学ツアー実施 JR子ども見学ツアー※	全自治体 JR北海道	-																
	エ. 地域住民向け特典付き沿線観光マップの作成・配布の継続	全自治体 その他	○																
オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ ・ご当地キャラクターイベントパンフレット等への掲載、グッズの作成・配布	全自治体	○																	
カ. 利用促進パネル展の実施	自治体	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 道内外から富良野線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 航空会社と連携した利用促進 ・富良野・美瑛/ロッコ号の運行 ・富良野・美瑛キャンペーンの実施 ・JAL/JR北海道 ひがし&きた北海道キャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーバスの設定	全自治体 JR北海道 その他	△															
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーバスを活用した富良野線利用促進の取組	JR北海道	○															
	③発地側での宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	-															
	イ. 東京のアンテナショップでの沿線PR	自治体	○															
	④富良野線「音声ガイド」GPSアプリの実施	JR北海道	○															
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象としたお出かけを呼びかけ ア. ヘルシーウォーキングの実施 ※	自治体 JR北海道 その他	○															
	イ. ご当地キャラクターによるイベントの実施	全自治体 JR北海道	○															
	ウ. 市内のえきをめぐるなぞときのたび ※ (追加)	自治体	○															
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進 ア. 駅舎内及び駅前広場のイベント活用による賑わいの創出 ※	自治体 JR北海道 その他	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	③観光資源の積極的な活用																
	ア. 鉄道フォト・鉄道動画コンテストの実施	全自治体 JR北海道	○														
	イ. 鉄道写真コンクールの実施	全自治体 JR北海道	○														
	ウ. 特典付き沿線観光マップの作成・配布の実施	全自治体 その他	○														
	エ. JR路線案内も含めた観光案内の実施 HP, パンフレット等への掲載, 旅行代理店等への利便性のPR	自治体	○														
	オ. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR ※	自治体	○														
	カ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成・配布	自治体	○														
	④町イベント等のポスターを駅舎に掲示	自治体 JR北海道	○														
	⑤サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○														
	⑥261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE! FURANO号」お披露目運転と賑やかなの実施。(追加)	自治体 JR北海道	◎														
⑦「富良野・美瑛ノロッコ号」運行初日の賑やかなし(追加)	自治体 JR北海道	○															
⑧「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」企画(追加)	自治体 JR北海道	○															
⑨駅舎オープン周年記念企画(追加)	自治体 JR北海道	◎															

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や学校行事、都市間移動等での鉄道利用	①官公庁、城内事業所等による出張等での鉄道利用の促進	自治体 北海道	○														
	②学校行事等での鉄道利用促進	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体	○															
(2) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	全自治体 JR北海道 その他	-															
	②業務のお手伝いのお願い	全自治体 JR北海道 その他	-															
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	全自治体 JR北海道 その他	○															
(3) コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し	自治体 JR北海道	-															
	②ご利用の少ない踏切の見直し	全自治体 JR北海道	-															
(4) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	-															

III. その他

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期1年間)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討	全自治体 JR北海道 その他	-															
	②2次交通との連携に向けた検討 ・鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた協議																	
	ア. 地域公共交通会議の活用	自治体 JR北海道 その他	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
根室線

令和4年8月

根室線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、根室線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、根室線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策や実証的な手法について検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

○滝川～富良野間

- ・線区別収支は▲1,105百万円となり、基準とした平成29年度より165百万円改善した。営業収益は59百万円（対前年3百万円、106%）、営業費用は1,163百万円（対前年136百万円、113%）となった。
- ・輸送密度は201人/日となり、基準とした平成29年度より227名/日減少した。

○富良野～新得間

- ・線区別収支は▲661百万円となり、基準とした平成29年度より44百万円改善した。営業収益は21百万円（対前年▲0.2百万円、99%）、営業費用は681百万円（対前年74百万円、90%）となった。
- ・輸送密度は50人/日となり、基準とした平成29年度より42名/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

区間	項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
滝川 ～ 富良野	線区別収支	▲1,270百万円	▲1,105百万円	165百万円	達成
	輸送密度	428人/日	201人/日	▲227人/日	未達成
富良野 ～ 新得	線区別収支	▲705百万円	▲661百万円	44百万円	—
	輸送密度	92人/日	50人/日	▲42人/日	—

3. 具体的取組の検証

(1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が2%、達成見込み「○」が69%、未評価「－」が29%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	1	2%	フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの制作・配布
○	35	69%	富良野市内及び赤平市内小学校の児童が鉄道乗車体験を実施など
△	0	0%	－
－	15	29%	新型コロナウイルスの影響で学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけなどが中止された
合計	51	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布</p>	<p>根室本線対策協議会は、JRの利用促進を図るため、根室線カレンダーを制作した。これまで実施したフォトコンテスト応募作品の中から列車の風景がある写真を沿線市町村毎に選び、制作したカレンダーを沿線の事業所等に配布した。</p>   <p>(令和3年12月撮影・富良野市内)</p>	<p>○</p>
<p>(2) ラジオ番組における利用促進特集等</p>	<p>地域FM局「ラジオふらの」にて沿線の魅力をPRした。住民の鉄道の利用促進を図るため、4月より根室線の駅周辺の魅力や沿線にある観光素材等を紹介した。</p> 	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(3) 広報誌・HPにおける利用促進特集等</p>	<p>芦別市は、広報誌2月号にJR北海道のおトクなきっぷ「HOKKAIDO LOVE!6日間周遊パス」を紹介し、地域や市民の皆様には鉄道の関心を高めていただき、併せて鉄道の利用を促進する取り組みを行った。</p>	 <p>(芦別市広報誌 令和4年2月号掲載紙面・一部加工)</p>	○
<p>(4) 駅的环境美化の取組</p>	<p>芦別市内にある星槎国際高等学校 芦別学習センター、上芦別小学校の生徒・児童が、ボランティア・校外学習の一環で芦別駅、上芦別駅の清掃や駅前広場、駐輪場周辺の草刈り等を実施し、駅的环境美化に取り組んだ。</p>	 <p>(令和3年7月12日撮影・芦別駅／9月10日撮影・上芦別駅)</p>	○

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5) 駅的环境美化の取組</p>	<p>地域の皆様と協力し、富良野駅前の美化活動を行った。富良野緑峰高校園芸部生徒の駅前花壇への植栽や、ふらの観光協会による駅前広場の花壇整備など、景観美化に取り組んだ。</p> 	<p>○</p>
<p>(6) 行事等での鉄道利用</p>	<p>富良野市内及び赤平市内小学校の児童計40名が鉄道の乗車体験を行った。本学習は鉄道への興味・関心を高めてもらうため、根室本線対策協議会の補助事業として行った。</p>  <p>(令和3年12月22日撮影・滝川駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(7)「富良野・美瑛キャンペーン」の実施</p>	<p>冬の富良野・美瑛エリアの美しい風景、イベントを列車で訪れていただくため、「JRで行く冬の富良野・美瑛」キャンペーンを8年ぶりに実施した。地域の皆様と連携し、鉄道の利用促進と観光需要を創出する取り組みを行った。</p>		<p>○</p>
<p>(8)観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けたバスの検討・試行</p>	<p>富良野美瑛広域観光推進協議会は、ワーケーション実証実験をテーマとし、人気観光地であり、テレワーク施設がある富良野とトマムを結ぶモニターバスを7月31日から9月20日までの土・休日に運行し、期間中125名のお客様にご利用いただいた。</p>		<p>○</p>

5. 令和3年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、J R北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進した。
- ・基本指標とした滝川～富良野間の線区別収支は、基準とした平成29年度を上回り、目標を達成することができた。
- ・根室本線対策協議会の事業として実施した、根室線利用促進の取り組みにより、沿線住民、道内外のお客様に対して確かなPRを実施した。
 - ①根室線カレンダー制作
 - ②小学生向け乗車体験の実施
- ・冬の富良野・美瑛エリアの美しい風景、イベントを列車で訪れていただくため、「JRで行く 冬の富良野・美瑛」キャンペーンを8年ぶりに実施した。地域の皆様と連携し、鉄道の利用促進と観光需要を創出する取り組みを行った。
- ・令和2年度に引き続き、観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けた富良野～トマム間のモニターバスの試行を実施し、ご利用者アンケートの集計・分析を行い、地域関係者と次年度運行について、改善点や利用促進などを協議した。

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野 富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
								上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	◎ ◎	全自治体 JR北海道	○																
(2) 輸送サービスの向上	◎ ◎	全自治体 JR北海道	—																
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組																		
	ア. 広報誌やホームページによるJRに関する情報掲載	◎ ◎	全自治体	○															
	イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付	◎ ◎	自治体	○															
	ウ. 自治体によるJR時刻表の作成・配布		◎	自治体	○														
	エ. 地元住民との懇談会・意見交換会等の実施	◎ ◎	自治体 JR北海道	○															
	オ. シンポジウムの実施	◎ ◎	協議会	—															
	②ノーマイカーデーの実施		◎	自治体	○														
	③フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布	◎ ◎	協議会 その他	◎															
④リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	◎ ◎	JR北海道	—																
(4) 他の交通機関等との連携	◎ ◎	自治体 JR北海道 他交通機関	—																

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
					上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
									上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期						
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所の設置	◎	◎	自治体	○																	
	②駅舎の整備																					
	ア. 駅舎・待合室の整備	◎	◎	自治体	○																	
	イ. トイレ整備	◎	◎	JR北海道 自治体	○																	
	③駅前の整備																					
	ア. 駅前広場の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	○																	
	イ. お客様向け駐車場の整備		◎	自治体 JR北海道	○																	
④駅の活用																						
ア. 地域の皆様に自由に使っていただく駅の拡大	◎	◎	自治体	○																		
⑤駅を中心とした街づくり																						
ア. 駅周辺に店舗・公共施設の設置拡大	◎		自治体	○																		
⑥駅前周辺の再整備		◎	自治体 JR北海道	○																		
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅における大型荷物対応	◎	◎	自治体 その他	○																	
	②駅の環境美化の取組	◎	◎	自治体 その他	○																	
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携※																					
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	◎	◎	全自治体 JR北海道	○																	
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開)	◎	◎	全自治体 JR北海道	○																	
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信	◎	◎	全自治体 JR北海道	○																	
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復	◎	◎	全自治体 JR北海道	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
					R1		R2		R3		R4		R5									
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期								
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 大規模輸送障害発生時等の運休等情報内容の充実	◎	◎	JR北海道	○																	
(2) 公共交通の利用促進	① 行事等での鉄道利用	◎	◎	自治体	○																	
	② 鉄道利用促進のための補助制度等の検討及び導入	◎	◎	自治体	○																	

3. 観光利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
					R1		R2		R3		R4		R5									
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期								
(1) 道内外から根室線にお越しただいたための取組	① 商品造成やキャンペーンの実施 ア. 「富良野・美瑛キャンペーン」の実施	◎	◎	JR北海道	○																	
	② 観光列車の運行 ・PR強化によるフラノラベンダーエクスプレスの乗車人員増加	◎		自治体 JR北海道	○																	
	③ 閑散期の需要創出 ア. 「大人の休日倶楽部パス」を活用した根室線利用促進の取組	◎	◎	JR北海道	○																	
	④ 宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力 (ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	◎	◎	自治体 JR北海道	-																	
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	① 地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用※	◎	◎	自治体	○																	
	② 地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ・北の産業革命「炭鉄港」とコラボした空知・室蘭・小樽の鉄道利用周遊促進の協力	◎		自治体	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
					H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
									R1		R2		R3		R4		R5			
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、滝川・新得・富良野までの鉄道利用	◎		自治体	○															
	②学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけ※	◎	◎	自治体 JR北海道	—															

II. 経費節減

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
					H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
									R1		R2		R3		R4		R5			
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託																			
	ア. 乗車券の発売	◎		自治体	○															
	イ. 案内業務等	◎		自治体	○															
	ウ. 駅舎の管理		◎	自治体	○															
(2) コストダウンの取組に対するご理解 (個別協議)	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	○															
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
	③老朽化した駅舎・跨線橋の見直し ・撤去、簡易なものへの置き換え等	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
(3) 中長期的な経費節減策の検討	①中長期的な視点に立った設備内容のスリム化検討 ・設備投資、行き違い設備等	◎	◎	自治体 JR北海道	—															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

Ⅲ. その他

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
					上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
									上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 3つの側面からの検討・協議(生活・観光・物流)	①協議会の開催 ・協議会の方針に基づき、事務レベル会議を含めて、各種テーマの検討を進める	◎	◎	自治体 JR北海道	○														
	②ヒアリングの実施	◎	◎	自治体 JR北海道	—														
(2) あるべき交通体系について徹底的な検討	①2次交通も含めたあるべき交通体系について検討																		
	ア. 鉄道と各種バスとの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	◎	◎	自治体 JR北海道	—														
	イ. 並行するバス、沿線住民の鉄道利用状況を踏まえた持続的な利便性の高い交通体系にむけた協議	◎	◎	自治体 JR北海道	—														
	ウ. 観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けたバスの検討・試行		◎	自治体 JR北海道	○														
	②富良野～新得間における、あるべき交通体系の検討		◎	自治体 JR北海道	—														
(3) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	—														

※協議に期限を設けない

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)
室蘭線

令和4年8月

室蘭線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、室蘭線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、室蘭線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策を検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,082百万円となり基準とした平成29年度より151百万円上回った。
営業収益は新型コロナウイルスによる影響からの若干の回復が見られ、対前年2百万円増加した91百万円（対前年102%）となった。
また、営業費用は前年度のマクラギ交換の集中工事が行われたことによる反動で、対前年77百万円減少した1,174百万円（対前年94%）となった。
線区別収支は結果として、対前年79百万円増加した1,082百万円となった。
- ・輸送密度は300人/日となり基準とした平成29年度より139人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,233百万円	▲1,082百万円	151百万円	達成
輸送密度	439人/日	300人/日	▲139人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、達成見込「○」が88%、未評価「—」12%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
○	42	88%	「利用実態調査」「広報誌による利用促進特集記事掲載」「ウォーキングイベントによる勧誘」「地域イベント・お祭りの活用」などの取組み
—	6	12%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施」「相互連携の検討」などの取組み
合計	48	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) Facebook・Instagramによる情報発信</p>	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、室蘭線の利用を促進するため、Facebook、Instagramを活用し、室蘭線を利用したお出かけ投稿等を紹介することで、沿線市町の魅力をPRLした。</p>	 <p>○</p>
<p>(2) 栗山駅前広場の花壇の整備</p>	<p>町民団体のチーム夢(ときわ)や町民ボランティアの方々が、栗山町を訪問する方を綺麗な花で出迎えようと今年も駅前広場の花壇づくりを実施した。マリーゴールドやベゴニアなど約2,000株の花の苗を丁寧に植栽し、癒しの場を提供している。</p>	 <p>(令和3年6月6日撮影 栗山駅)</p> <p>○</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) コンテスト応募写真を活用した室蘭線PRの実施</p>	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、Instagramで募集した写真を使用したポスターやパンフレットを作成し、7月から9月まで、札幌エリアの主要駅に掲示し、室蘭線への来訪をPRした。</p>	 <p>(令和3年7月6日撮影 手稲駅)</p> <p style="text-align: right;">○</p>
<p>(4) 栗山小学校出前授業の実施</p>	<p>栗山小学校で出前授業を実施した。2年生55名が、鉄道の仕事や列車の乗り方などを学んだ後、乗車を体験した。出前授業・体験乗車は、鉄道に関心を高めてもらう取組として3年間継続して実施している。</p>	<p>(令和3年9月21日撮影・栗山小)</p>  <p>(令和3年9月24日撮影・栗山駅)</p> <p style="text-align: right;">○</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(5)「あびら鉄道カードラリー」の実施</p>	<p>安平町とあびら観光協会は「あびら鉄道カードラリー」を実施した。楽しみながらカード集めができるよう18種類のカードを制作、町内の観光施設などを訪れた方に配付し、室蘭線の利用促進に取り組んだ。</p>		<p>○</p>
<p>(6) 出前授業・体験乗車の実施</p>	<p>栗山町継立小学校にて鉄道に関心を高めてもらう取組として出前授業を実施した。1・2年生19名が、鉄道の仕事や列車の乗り方などを学んだ後、栗山駅から追分駅まで乗車を体験した。</p>	<p>(令和3年10月27日撮影・継立小)</p>   <p>(令和3年10月29日撮影・栗山駅)</p>	<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
(7) 町内TVで鉄道乗り方PR	<p>安平町は「鉄道乗り方ガイド(30秒CM)」を制作し、あびらチャンネル(町内限定放送)にて3月から放映を開始した。利用方法を紹介することで身近な乗り物としてPRする取り組みを行った。</p>	 <p>(令和4年1月19日撮影・追分駅)</p>	○
(8) インスタ投稿募集で室蘭線PR	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、Instagramやポスター等で1月21日から3月6日まで投稿写真の募集を行い、室蘭線の新しい利用方法を発掘するとともに室蘭線のPRに取り組んだ。今後、応募作品を掲載したポスターを作成し、札幌圏の主要駅に掲出する取り組みを行う予定。</p>		○

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

5. 令和3年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、室蘭線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ JR室蘭線活性化連絡協議会は、SNSを活用した「室蘭線インスタお出かけコンテスト」を実施し、室蘭線を利用したお出かけ投稿等を募集・紹介して、利用促進に取り組んだ。
- ・ 安平町と観光協会は、町内で鉄道カードラリーを10～12月に実施して、利用促進に取り組んだ。
- ・ 学校教育現場にJR社員が赴き、室蘭線の歴史や鉄道の仕事、列車の乗り方教室や体験乗車を通じたマイレール意識の醸成を図った。
- ・ 新型コロナウイルスの影響や定期利用の減少により、基準とした平成29年度の目標値に対して、輸送密度は▲139人/日となり、目標に未達成にあるが、線区別収支は、営業費用の減少から基準とした平成29年度より151百万円改善した。
- ・ 第2期集中改革期間においても、マイレール意識醸成や日本遺産「炭鉄港」や地域の特色あるイベントによる圏外からの誘客や域内相互送客を実践するとともに、設備のスリム化や徹底した経費節減の取組みを推進する。

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査実施※	JR北海道 全自治体	○																	
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—																	
	②「地域公共交通形成計画」における室蘭線利用に向けた取組の実施	自治体	○																	
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組																			
	ア. JRに関する利用促進特集等沿線自治体相互間の送客に向けた情報掲載※	全自治体	○																	
	イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付	自治体	○																	
	ウ. 地元住民との懇談会等の実施※	自治体	○																	
	エ. 利用促進ポスターの作成と掲示	全自治体	○																	
	②ノーマイカーデー実施による鉄道利用促進	自治体	○																	
	③エリア内地上一般放送活用による鉄道利用促進広報活動の実施	自治体	○																	
	④車窓フォトコンテスト等の実施	全自治体 JR北海道	○																	
⑤リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	—																		
⑥出前教室の実施 教育現場にJR社員が赴きJR北海道及び線区に関するPRを実施※	JR北海道 全自治体	○																		

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
							R1		R2		R3		R4		R5					
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携の推進 ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	JR北海道 他交通機関	○																	
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	—																	
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体	○																	
	②駅舎の整備																			
	ア. 駅舎・待合室の整備	自治体 JR北海道	○																	
	イ. 駅付帯バリアフリー施設の整備・維持・管理	自治体	○																	
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・地域による洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	○																	
	・公営トイレの駅利用者利用	自治体	○																	
	③駅の活用 地域の皆様に自由に使っていただく取組	自治体 その他	○																	
④駅を中心としたまちづくり 駅周辺への店舗・公共施設等の設置	自治体	○																		
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅的环境美化の取組 ・花壇等の整備・管理	自治体 その他	○																	
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携																			
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の 展開	全自治体 JR北海道	○																	
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の 拡大※(乗車に繋がる施策の展開)		○																	
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の 取組等の全国への発信		○																	
エ. 感染症により失われた公共交通需要の 回復※	○																			

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
(1) お客様サービスの向上	①サービスレベルの向上	JR北海道	○														
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施 ・通学定期への補助	自治体	○														
	②行事等での鉄道利用※	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
(1) 道内外から室蘭線にお越し いただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住いの皆様を対象とした お出かけ勧誘 ア. ヘルシーウォーキングの開催情報の発信・PR※	JR北海道 自治体	○														
	②宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体	○														
	③着地型観光の取組実施 ア. 周遊ツールとしてのレンタサイクルの取組	自治体 その他	○														
(2) 地域の皆様と連携した 取組の推進	①地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の 検討・実施 ア. 地域イベント・お祭りの活用 ・鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポンの配布※ ・地域イベント等と連動した鉄道利用策の実施※	自治体 全自治体	○ ○														
	②地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ア. 北の産業革命「炭鉄港」を活用した室蘭線の利用 促進	自治体 JR北海道	○														
	イ. 沿線の観光地、旅館、飲食店等と連携した取組の 実施 ・道の駅開業を活用した鉄道利用促進	自治体	○														
	ウ. 沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の 企画・実施・協力	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																				
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間												
			R1		R2		R3		R4		R5												
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期									
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、岩見沢・追分・沼ノ端・苫小牧までの鉄道利用に取り組む	自治体	○																				
	②学校行事等における鉄道利用の提案・呼びかけ・修学旅行・部活動(全国・全道大会)※	自治体 JR北海道	○																				

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																				
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間												
			R1		R2		R3		R4		R5												
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期									
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託 ア.乗車券の発売	自治体	○																				
	②当社の行き届かない取組 ア.防犯カメラの設置・運用	自治体	○																				
	③当社の行き届かない取組に対する自治体側での実施の検討	自治体 JR北海道 その他	○																				
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	JR北海道 自治体	—																				
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	JR北海道 自治体	○																				
(3) 設備の見直しやスリム化についての検討	①設備の見直しやスリム化についての検討・協議	自治体 JR北海道	○																				

III. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																				
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間												
			R1		R2		R3		R4		R5												
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期									
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について自治体の皆様と検討の開始	自治体 JR北海道	—																				
	②「地域公共交通形成計画」における室蘭線を利用するための検討 ア.鉄道とバス等との連携した仕組み作りに向けた検討の開始	自治体 JR北海道 その他	○																				
	イ.「地域公共交通形成計画」策定・検討																						
(2) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	自治体 JR北海道 その他	—																				

アクションプラン
第2期計画1年目報告書
(令和3年度)

日高線

令和4年8月

日高線アクションプラン実行委員会

1. はじめに

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、日高線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画1年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、日高線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）の残り期間において、より効果的な実施策を検討していく。**

2. 基本指標・関連指標の検証

基本指標の概況

- ・線別収支は、▲378百万円となり基準とした平成29年度より48百万円上回った。
営業収益は、鷗川駅以遠廃止による定期利用の減少や前年度廃止前入込の反動減により、対前年14百万円減少した35百万円(対前年71%)となった。
営業費用は勇払・浜厚真間の遊間整正等を行い対前年73百万円増加した413百万円(対前年121%)となった。
線別収支は結果として、対前年86百万円減少した。
- ・輸送密度は387人/日となり、基準とした平成29年度より62人/日減少した。

▼令和3年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和3年度 (実績)	対目標	目標 達成
線別収支	▲426百万円	▲378百万円	48百万円	達成
輸送密度	449人/日	387人/日	▲62人/日	未達成

3. 具体的取組の検証

進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、達成見込「○」が72%、一部達成「△」が3%、未評価「—」が25%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和3年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
○	26	72%	「利用実態調査」「鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施」などの取組み
△	1	3%	「駅前広場に必要な機能・配置の検討」の取組み
—	9	25%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施」「相互連携の検討」などの取組み
合計	36	100%	

4. 令和3年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(1) 定期券助成による列車通学の継続</p>	<p>むかわ町は、北海道鷗川高校に対する苫小牧市内からのJR定期券助成を令和3年度も継続した。上期は、この制度を同校生徒53名が活用し、JRで通学した。</p>		<p>○</p>
<p>(2) 厚真町公共交通ガイドブック作成・配布</p>	<p>厚真町は、5月28日、町内全戸と転入者に対して鉄道の時刻表や運賃等を掲載している「厚真町公共交通ガイドブック」を約2,000部配布した。従来の物よりフォントの拡大等を行い、より見やすいレイアウトにするなど改善を行った。</p>		<p>○</p>

4. 令和3年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
(3) 広報誌での公共交通利用促進記事の掲載	<p>苫小牧市は、「広報誌9月号」に「みんなで守ろう！私たちの足、公共交通」と題した公共交通の現状を掲載した。鉄道など公共交通の維持には、利用促進などの取組が必要であることを市民に訴えた。</p>		○
(4) 鷗川駅前花壇整備の実施	<p>鷗川中学校の生徒が鷗川駅前の花壇及びプランターを整備した。生徒の方々にマイレール意識を持っていただくとともにご利用のお客さまを花でおもてなしする取組として実施した。</p>		○

4. 令和3年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
(5)ラッピング列車の運行	<p>北海道胆振東部地震から3年を迎え、創造的復興・創生を高めることを目的に「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」を10月2日より運行した。車両ラッピングはむかわ町の全額ご支援により実現した。</p>	 <p>(令和3年10月2日撮影・鶴川駅)</p>	○
(6)むかわ町恐竜フェスタの開催	<p>むかわ町は12月4・5日「むかわ町恐竜フェスタ」を開催した。イベント日には「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」を運行するとともに、JRで来場した方には会場にて記念カードを贈呈するなど、JRの利用促進に努めた。</p>	 <p>(令和3年12月4・5日むかわ町内)</p>	○

4. 令和3年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
(7)むかわ竜による日高線利用促進	カムイサウルス(むかわ竜)復興トレインの紹介と、むかわ町穂別博物館へのアクセスをPRするポスター・チラシを作成し、札幌圏の主要駅に3月から5月まで掲出した。	 <p>(3月26日撮影・桑園駅)</p>	○
(8)公共交通利用促進ポスター作成・掲示	苫小牧市は12月1日～2月14日「TOMAILLU SQUARE2021」の開催にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、日高線沿線の駅及び公共施設に掲出した。	 <p>(令和3年12月1日～令和4年2月14日イベント開催)</p>	○

5. 令和3年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、日高線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ むかわ町の定期券助成による鷓川高校の列車通学支援を継続したことにより収支改善に貢献した。
- ・ むかわ町の支援による「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」が10月に運行開始し、むかわ恐竜フェスタ開催日に利用者へ記念カードを贈呈するなど、利用促進に取り組んだ。
- ・ 苫小牧市が公共交通利用促進ポスターを作成、厚真町が公共交通ガイドブックを作成する利用促進の取り組みを行った。
- ・ 平成29年度の目標値に対して、線区別収支は+48百万円となり、目標を達成したが、鷓川駅以遠廃止による定期利用の減少や前年度廃止前入込の反動減により輸送密度は▲62人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 第2期計画の取組は、むかわ町の定期券助成による鷓川高校の列車通学支援を継続するとともに、むかわ竜ラッピング列車の運行開始による圏外からの誘客並びにマイルール意識醸成に取り組む。また、地域の関係者との協力を得ながら設備のスリム化や徹底した経費節減の取り組みを推進する。

I. 利用促進
1. 共通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																			
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間											
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5							
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがいお客様の層等を掌握するため実態調査の新設※	JR北海道 全自治体	○																				
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—																				
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組																						
	ア. JRに関する利用促進特集等沿線自治体相互間の送客に向けた情報掲載※	全自治体 その他	○																				
	イ. 鉄道とバスを組み合わせた域内総合時刻表の作成・配布	自治体	○																				
	ウ. 地元住民との懇談会等の実施 ・自治体主催出前講座への登録・開催※	自治体 JR北海道	○																				
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	—																				
	③出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う※	JR北海道 全自治体	○																				
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進 ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	○																				
	②2次交通との連携に向けた検討 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	—																				
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置の検討	自治体 JR北海道 その他	○																				
	②駅舎の整備 ア. 駅舎・待合室の整備 ・自治体による駅舎・待合室の整備	自治体	○																				

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
(5) 拠点としての駅の活用	イ. 駅付帯バリアフリー施設・維持・管理 ・ホーム、改札に繋がるエレベーター付自由通路整備 ・オストメイトトイレの設置	自治体 自治体	○																		
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	○																		
	③ 駅前広場に必要機能・配置の検討 ・駅前広場の再整備 ・バリアフリー化の検討	自治体	△																		
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	① 駅前の環境整備 ・駅前広場の整備・維持・管理	自治体	○																		
(7) 全道利用促進取組との連携	① 北海道鉄道活性化協議会との連携の検討 ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	全自治体 JR北海道	○																		
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大※ (乗車に繋がる施策の展開)		○																		
	ウ. 本道における線路網の重要性や地域の取組等の全国への配信		○																		
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復※		○																		

2. 生活利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5				
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	○																	
(2) 公共交通の利用促進	① 鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施	自治体	○																	
	② 行事等での鉄道利用 ・日中時間帯の鉄道利用を図るため行事等での鉄道利用を依頼※	全自治体	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																		
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間										
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5						
(1) 道内外から日高線にお越しただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住まいの皆様を対象にしたお出かけの勧誘	全自治体 JR北海道	○																			
	②宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	JR北海道 全自治体	○																			
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進※	全自治体 JR北海道	○																			
	②沿線をPRするラッピング列車運行の検討	自治体 JR北海道	○																			
	③JR利用者への地元施設特典を付与し、JR利用促進と地元施設の活性化を図る	自治体 その他 JR北海道	—																			

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																		
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間										
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5						
(1) 出張等での鉄道利用	①官公庁・域内事業所等において、札幌までの出張時等に、苫小牧～鶴川間の鉄道利用に取り組む	全自治体 JR北海道	○																			
	②学校行事等における鉄道利用促進の提案・呼びかけ※	全自治体 JR北海道	—																			

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II 経費節減

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
								R1		R2		R3		R4		R5	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務のお手伝いのお願 ・駅清掃・巡回・ホーム除雪	自治体	○														
	②当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体	—														
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	○														
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	—														

III. その他

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
								R1		R2		R3		R4		R5	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	—														
	②「地域公共交通形成計画」の策定・日高線と他の交通機関で連携した地域最適な公共交通ネットワーク再構築への検討	自治体	○														
(2) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	全自治体 JR北海道	—														